

# 文化総合学研究科

## 【概要】

「文化総合学研究科」は、1999年に「アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科」として開設され、キリスト教文化学、神学、哲学・倫理学、文学、歴史学等の人文学を中心として、アメリカ・ヨーロッパの文化の根底にあるキリスト教プロテスタントの深い理解に立った高度な専門的知識を身につけた人材を育成すること、更には文化的価値創生を担える人材を育成することを通じて、社会の要請にも応えうる研究教育を実践することを目指した。

その後も、人文学領域の研究教育の更なる強化をはかり、現代人の思想文化の問題や現代社会の文化的課題を、その淵源にまで遡りつつ、自ら課題を見つけ研究する、専門家・実務者の養成に力を注ぎ、成果を挙げてきた。

そうした成果の上に立ち、より複雑化した現代世界の歴史的状況を視界に見定め、これまでと同様にアメリカ・ヨーロッパ文化の根源にあるキリスト教の深い理解を基盤としつつ、キリスト教に淵源する普遍的な文化的価値とともに、異なる文化的価値をも視野にいれた上で現代の文化的諸価値を総合し統合することにより、現代における新たな文化的価値創生を担える人材を育成することを目指すこととなった。

そのため、本研究科は2020年度より「文化総合学研究科」と改称することとなった。

## 【文化総合学研究科ポリシー】

### ディプロマ・ポリシー

博士前期課程は、人文学の立場から、アメリカ・ヨーロッパ文化および世界のグローバル化の中での日本文化の深層理解に学問的に対応できる能力と幅広い教養を修得し、かつ専攻分野における研究能力または高度な専門性を要する職業に必要な能力をもつ者に修士（学術）を授与する。

博士後期課程は、新しいアメリカ・ヨーロッパ文化学および日本文化学の総合的視点にたった専門的見地から、多様化する社会において自立した研究者として貢献する専門的知識と研究方法を習得し、高度に専門的な業務に従事するに必要な研究能力をもつ者に博士（学術）を授与する。

### カリキュラム・ポリシー

1. 博士前期課程は、キリスト教理解を基盤にした新しい文化総合学の教育と研究を実現する科目群として共通必修科目を設置する。
2. また博士前期課程に、学生の専門的ニーズに応える科目群として「アメリカ・ヨーロッパ文化学」「キリスト教文化学」「日本文化学」「文化基礎・人間学」の講義科目を設置する。
3. 博士後期課程は、いわゆる単位制を取らず、学生に対して正副2名の指導教授が学生の研究分野に対して専門的な研究指導をする「特殊研究科目」をおく。
4. また博士後期課程は、「博士論文提出資格試験」を課すほか、2編以上の小論文の作成（博士論文に関わるもの）と公開研究会での発表、および語学試験の合格あるいは履修という条件で構成される。
5. 博士論文提出資格試験に合格した者に対して「予備審査用の博士論文」を提出させ、これに合格した者が博士學位申請論文を提出しうるものとする。

### アドミッション・ポリシー

#### 博士前期課程

1. ジェネラリストとして、グローバリゼーションの理念に基づき、自治体、民間レベルの文化交流・国際的業務に携わることをめざす人を求める。
2. キリスト教文化を深く理解し、あらゆる分野で国際的信頼関係に基づいた活動をめざす人を求める。
3. 語学力とともに、国際的な価値観・センスを身につけることをめざす人を求める。

4. 深く新しい文化総合教育に携わることをめざす人を求める。

博士後期課程

新しい文化総合学の構築を目的とし、自立した専門的研究活動を遂行することをめざす人を求める。

## 【コース説明】

### アメリカ・ヨーロッパ文化学コース

アメリカおよびヨーロッパの文化の根柢にはキリスト教プロテスタントの価値観が脈々と流れている。現代の主導的価値観の基礎をなすアメリカ・ヨーロッパ文化をキリスト教文化学、神学、哲学、倫理学、文学、歴史学、政治思想等の諸学の領域から研究し、どのようにアメリカ独自の思想文化が発展してきたのか、ヨーロッパの思想や文化が何を目指してきたのかを問いつつ、世界各地の近代化に密接に関連しているアメリカ・ヨーロッパの文化をグローバル化が進む現代の状況と課題を見据えながら、文化変容の問題や文化の比較という方法的視点にたち、深く追究する。

### 日本文化学コース

近代化以降の日本文化は、キリスト教の受容にはじまり、それと深く関わる欧米の価値観の摂取というまさに文化変容の場である。自由や平等という普遍的価値をめざすとともに、伝統的文化が重層的に基層をなす場でもある。そしていままさにグローバル化というあらたな動向の只中に置かれている。その日本文化のありかたを、キリスト教、キリスト教思想、倫理学、歴史学、文学、文化論等のさまざまな視点から多角的にとらえ、日本文化に課せられた現代的な課題に向き合いつつ、未来に向けあるべき文化像と人間像を模索し考察していく。同様な近代化を経験した日本とアジアの文化との連関の考察も重要な研究の課題である。

### キリスト教文化学コース

世界をリードするアメリカ・ヨーロッパ文化の根底にあるキリスト教思想が、古代から現代までどのように展開したのか、欧米文化にどのような影響を与えたのかを歴史的に解明する。特に、ニーバー、キング、ガンジーなどの諸説から“近代世界とキリスト教”の関わりを重点的に研究。さらに、キリスト教思想から現代をどのように理解するかをも追究する。

### 文化基礎・人間学コース

文化には諸地域での特有の現象という側面と、他方で地域という枠をこえた文化現象の通有性、あるいは文化の根柢にある人間のあり方の普遍性という側面もある。哲学、教育学、文化表象論等から、文化の基礎にある普遍的な人間のありかたを現代的な課題を踏まえつつ、歴史的にあるいは構造的に深く追究する。

2022年度 大学院【文化研】カリキュラム

コース	授業科目	担当者	単位		開講期			対象学年	備考	
			必修	選択	春学期	秋学期	その他			
研究科 目	共通基礎	文化総合学総論	オムニバス	2		○			1	演習科目関連の科目選択
		文化総合学研究	未定		2				1	
		比較文化研究	氏家理恵		2	○			1	
		研究方法特論	今出、村岡、杉淵		2	○			1	
	アメリカ・ヨーロッパ文化学	アメリカ文化学研究A	村岡有香		4	◎			1	
		アメリカ文化学研究B	江崎聡子		2	○			1	
		ヨーロッパ文化学研究A	和田光司		4	◎			1	
		ヨーロッパ文化学研究B	村瀬天出夫		2	○			1	
		ヨーロッパ文化学研究C	今出敏彦		2	○			1	
	日本文化学	日本文化学研究A	清水正之		4	◎			1	
		日本文化学研究B	村松 晋		2	○			1	
		日本文化学研究C	休講		2				1	
		日本文化学研究D	木下綾子		2	○			1	
		アジア文化学研究A	洛雲海		4	◎			1	
	キリスト教文化学	キリスト教文化学研究A	関根清三		4	◎			1	
		キリスト教文化学研究B	柳田洋夫		2		○		1	
		キリスト教文化学研究C	菊地 順		2		○		1	
	文化基礎・人間学	文化基礎・人間学研究A	田澤 薫		2	○			1	
		文化基礎・人間学研究B	小池茂子		2	○			1	
		文化基礎・人間学研究C	佐藤千瀬		2	○			1	
		文化基礎・人間学研究D	松本祐子		2	○			1	
		文化基礎・人間学研究E	久保田翠		2	○			1	
	原典購読	文献講読A（日本文化学）	清水 均		2	○			1	
		文献講読B（日本文化学）	濱田 寛		2	○			1	
		文献講読C（ヨーロッパ文化学）	和田光司		2		○		1	
		文献講読D（キリスト教文化学）	休講		2				1	
		原書講読A（英語）	氏家理恵		2	○			1	
		原書講読B（英語）	氏家理恵		2		○		1	
		原書講読A（独語）	村瀬天出夫		2	○			1	
		原書講読B（独語）	村瀬天出夫		2		○		1	
原書講読A（仏語）		杉淵洋一		2	○			1		
原書講読A（ラテン語）		高橋雅人		2	○			1		
原書講読B（ラテン語）		高橋雅人		2		○		1		
原書講読A（ヘブライ語）		関根清三		2	○			1		
原書講読B（ヘブライ語）		関根清三		2		○		1		
原書講読A（ギリシャ語）		休講		2				1		
原書講読B（ギリシャ語）	休講		2				1			

コース	授業科目	担当者	単位		開講期			対象学年	備考	
			必修	選択	春学期	秋学期	その他			
演習 科 目	演習(研究指導)	アメリカ文化学A演習Ⅰ		4		◎		1	2演習計8単位以上 選択必修	
		アメリカ文化学B演習Ⅰ		4				1		
		ヨーロッパ文化学A演習Ⅰ		4		◎		1		
		ヨーロッパ文化学B演習Ⅰ		4		◎		1		
		ヨーロッパ文化学C演習Ⅰ		4		◎		1		
		日本文化学A演習Ⅰ		4		◎		1		
		日本文化学B演習Ⅰ		4		◎		1		
		日本文化学C演習Ⅰ		4				1		
		日本文化学D演習Ⅰ		4		◎		1		
		アジア文化学A演習Ⅰ		4		◎		1		
		キリスト教文化学A演習Ⅰ		4		◎		1		
		キリスト教文化学B演習Ⅰ		4		◎		1		
		キリスト教文化学研究C演習Ⅰ		4		◎		1		
		文化基礎・人間学A演習Ⅰ		4		◎		1		
		文化基礎・人間学B演習Ⅰ		4		◎		1		
		文化基礎・人間学C演習Ⅰ		4		◎		1		
		文化基礎・人間学D演習Ⅰ		4		◎		1		
		文化基礎・人間学E演習Ⅰ		4		◎		1		
		アメリカ文化学A演習Ⅱ		4					2	1演習選択必修
		アメリカ文化学B演習Ⅱ		4		○			2	
		ヨーロッパ文化学A演習Ⅱ		4					2	
		ヨーロッパ文化学B演習Ⅱ		4					2	
		ヨーロッパ文化学C演習Ⅱ		4					2	
		アジア文化学A演習Ⅱ		4					2	
		キリスト教文化学A演習Ⅱ		4					2	
		キリスト教文化学B演習Ⅱ		4					2	
		キリスト教文化学研究C演習Ⅱ		4		○			2	
		日本文化学A演習Ⅱ		4					2	
		日本文化学B演習Ⅱ		4					2	
		日本文化学C演習Ⅱ		4					2	
		日本文化学D演習Ⅱ		4					2	
		文化基礎・人間学A演習Ⅱ		4					2	
文化基礎・人間学B演習Ⅱ		4					2			
文化基礎・人間学C演習Ⅱ		4					2			
文化基礎・人間学D演習Ⅱ		4					2			
文化基礎・人間学E演習Ⅱ		4					2			

修了要件 30単位以上、かつ修士論文またはそれに代わる研究成果を提出し審査に合格すること。

2022 博士後期課程カリキュラム					
特殊研究科目	アメリカ文化学特殊研究	博士指導主査・副査		通年1・2・3	1科目選択必修 (在籍期間中)
	ヨーロッパ文化学特殊研究				
	日本文化学特殊研究				
	アジア文化学特殊研究				
	キリスト教文化学特殊研究				
	文化基礎・人間学特殊研究				
	総合文化学特殊研究				
一般履修科目	アメリカ文化学特殊演習	修士演習Ⅱと同		1	1科目選択必修
	ヨーロッパ文化学特殊演習				
	日本文化学特殊演習				
	アジア文化学特殊演習				
	キリスト教文化学特殊演習				
	文化基礎・人間学特殊演習				
	総合文化学特殊演習				